

取扱説明書

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

主な特長

ペダルボードはシステムで考える時代へ

- 多彩な内蔵エフェクトに加え、こだわりのペダルを接続できるエフェクト・ループを3系統搭載した、新しい発想の統合型エフェクト・システム。
- コンパクト・ペダル設計のノウハウを結集した省スペース設計により、豊富な機能を備えながらも小型で軽量のペダルボードの構築が可能。
- 充実した外部コントロール端子や MIDI 機能、PC エディター・ソフトウェアにより、表現力に無限の可能性を与えるフレキシブルな仕様。


 取扱説明書 (本書)

最初に読んでください。基本的な使いかたを説明しています。詳しい操作方法については、『パラメーター・ガイド』(PDF)をダウンロードをご覧ください。



PDFマニュアル (Webからダウンロード)

- パラメーター・ガイド**
本機のすべてのパラメーターについて説明しています。また、本機に収録されている音色のリストもあります。専用ソフトウェアから表示することもできます。
- アプリケーション・ガイド**
MS-3のセットアップ例、設定方法について解説しています。
- MIDIインプリメンテーション**
MIDIメッセージの詳細資料です。



PDFマニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。

<http://jp.boss.info/manuals/>



2. 製品名「MS-3」を選んでください。

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書 (P.20)）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

目次

| | | | |
|---------------------------------------|-----------|--|-----------|
| 準備する | 3 | システム設定をする (MENU) | 15 |
| リア・パネル (機器の接続)..... | 3 | 基本操作 | 15 |
| トップ・パネル..... | 5 | ディスプレイのコントラストを調節する.. | 15 |
| 画面構成 | 6 | オート・オフ機能を設定／解除する... | 16 |
| [1] ～ [3] つまみの操作 | 7 | 工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)..... | 16 |
| ページの切り替え | 7 | | |
| 電源を入れる／切る..... | 8 | | |
| ギターをチューニングする (チューナー)..... | 8 | パソコンでパッチを 編集／バックアップする | 17 |
| | | USB ドライバーのインストール | 17 |
| 演奏する | 9 | 専用ソフトウェアのインストール..... | 17 |
| パッチの構成..... | 9 | | |
| メモリー／マニュアル・モードを切り 替える | 9 | 資料 | 18 |
| バンク／パッチを切り替える..... | 10 | エラー・メッセージ一覧 | 18 |
| プレイ画面について | 10 | ゴム足の取り付け..... | 18 |
| | | ブロック・ダイヤグラム | 18 |
| パッチの設定を変える | 11 | 主な仕様 | 19 |
| 基本操作 | 11 | | |
| エフェクトの接続順を変更する.... | 12 | 安全上のご注意 | 20 |
| CTL / ASSIGN / MIDI の設定を 変える | 12 | | |
| パッチを保存する (ライト) | 13 | 使用上のご注意 | 20 |
| パッチを入れ替える | 14 | | |
| パッチを初期化する | 14 | | |

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (オート・オフ機能)。自動的に電源が切れないようにするには、オート・オフ機能を解除してください (P.16)。

ご注意!

- 電源が切れると編集中の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください (P.8)。

準備する

リア・パネル（機器の接続）

LOOPS 端子 (L1 ~ 3 SEND、L1 ~ 3 RETURN)

エフェクト・ループ端子です。MS-3 には、L1 ~ 3 の 3 系統が装備されています。

L1 ~ 3 SEND 端子からエフェクターに信号を送り、L1 ~ 3 RETURN 端子でエフェクターからの信号を受け取ります。

L1 ~ 3 SEND 端子をエフェクターの INPUT 端子に接続し、エフェクターの OUTPUT 端子を L1 ~ 3 RETURN 端子に接続してください。



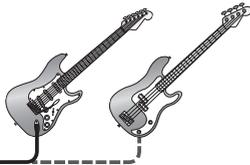
[POWER] スイッチ

電源をオン/オフします (P.8)。



INPUT 端子

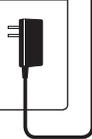
ギター、ベースなどを接続する端子です。



他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。



OUTPUT 端子 (R、L/MONO)

ギター・アンプやミキサーなどに接続します。
モノで使用するときは、L/MONO 端子のみに接続します。



準備する

リア・パネル（機器の接続）

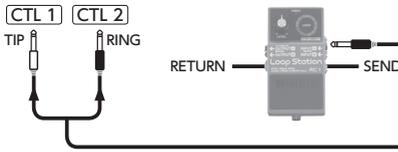
CTL OUT 端子 (CTL 1/2)

外部機器のコントロール端子と接続するための端子です。

アンプのチャンネル切り替え、リバーブのオン/オフ、タップ・テンポ動作などをコントロールすることができます。

この端子は、TRS プラグを使用することで、2 系統のコントロール (TIP:CTL1、RING:CTL2) が可能です。

※ 標準プラグのケーブルを接続したときは、CTL 1 だけが使えます。



CTL OUT、CTL IN 端子の
ピン配置



CTL IN 端子

別売のエクスペッション・ペダルやフットスイッチを接続して、さまざまな機能をコントロールすることができます。

EXP 1、2 端子として使う場合

エクスペッション・ペダル (Roland EV-5 など) を接続します。



CTL 1/2、3/4 端子として使う場合

フットスイッチを接続します。

MIDI OUT 端子

MIDI 対応エフェクターを接続して、MS-3 からコントロールします。

クロック・アウト、プログラム・チェンジ、コントロール・チェンジに対応しています。

詳しくは、パラメーター・ガイド (PDF) をご覧ください。



(USB) 端子

パソコンを接続して、パソコン上でパッチの編集や管理ができます (P.17)。



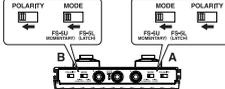
エクスペッション・ペダルは、必ず指定のもの (別売: FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5) をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

モード/ポラリティー・スイッチ

FS-5U



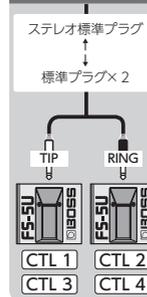
FS-6



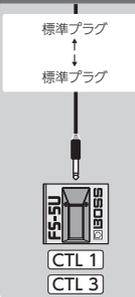
FS-7



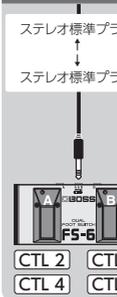
FS-5U×2の場合



FS-5U×1の場合



FS-6の場合



FS-7の場合



トップ・パネル



| | |
|----------|---|
| 1 | ディスプレイ MS-3のいろいろな情報を表示します。 |
| | [1] ~ [3] つまみ 画面に表示されたパラメーターの設定値を、選択/変更します。 ※ [[1] ~ [3] つまみの操作] (P.7) 参照。 |
| | オン/オフ・インジケータ 各エフェクトの状態を表示します。 オン:点灯、オフ:消灯 ※ MUTE & TUNER モード時は、TUNER インジケータとして動作します。 |
| | [ON/OFF] ボタン エディット時、選ばれているエフェクトのオン/オフを切り替えるときに押します。 |
| | ロック機能 プレイ画面で、[ON/OFF] ボタンを2秒以上長押しするとロック機能がオンになり、すべてのボタンと [1] ~ [3] つまみの操作が効かなくなります。誤って設定が変わってしまうことを防ぐことができます。 |
| 4 | もう一度長押しすると、ロック機能がオフになります。 |
| | [MENU] ボタン システムの設定をするときに押します。 |
| | [EDIT] ([< PAGE]) ボタン パッチの設定をするときに押します。 <ul style="list-style-type: none"> ページ・タブが表示されている画面では、[< PAGE] ボタンとして、ページを切り替えます。 |

| | |
|----------|--|
| | [EXIT] ボタン 操作の取り消しや前の画面に戻ったりするときに押します。 |
| 4 | [ENTER] ([PAGE >]) ボタン 操作を確定するときに押します。 <ul style="list-style-type: none"> ページ・タブが表示されている画面では、[PAGE >] ボタンとして、ページを切り替えます。 プレイ画面では、表示の切り替えに使用します。 |
| 5 | [MEMORY/MANUAL] スイッチ メモリー・モード (インジケータ青点灯) とマニュアル・モード (赤点灯) が切り替わります。 ※ 2秒以上押しと、MUTE & TUNER モードに切り替わります。 |
| | ナンバー・スイッチ [1] ~ [4] メモリー・モードではパッチの選択、マニュアル・モードでは割り当てた機能を操作することができます。 |
| | メモリー・モード時の同時押し ※ マニュアル・モードでは、動作しません。 <ul style="list-style-type: none"> [1] と [2] を同時に押しと、スイッチを押すたびに、バンク・ナンバーが下がります。(バンク・ダウン) [3] と [4] を同時に押しと、スイッチを押すたびに、バンク・ナンバーが上がります。(バンク・アップ) |
| 6 | |

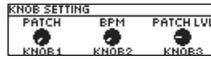
準備する

画面構成

WRITE UTILITY 画面 (P.13)



システム設定 (P.15)



[< PAGE] [PAGE >] ボタン
でページ切り替え

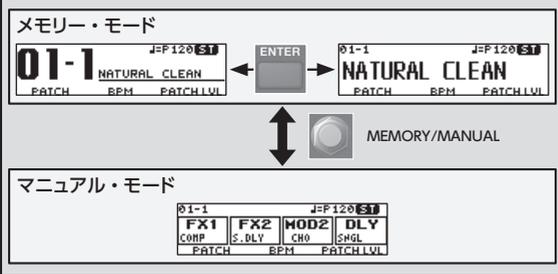


[1] ~ [3] つまみでカーソル移動

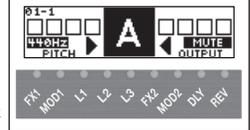
MENU 画面 (P.15)



プレイ画面 (P.10)

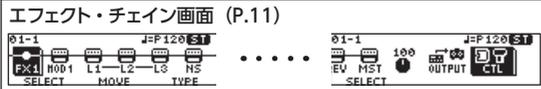


チューナー画面 (P.8)



MUTE & TUNER
2秒押し

パッチ・エディット (P.11)

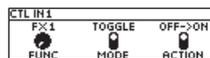


[1] ~ [3] つまみでカーソル移動



[< PAGE] [PAGE >] ボタン
でページ切り替え

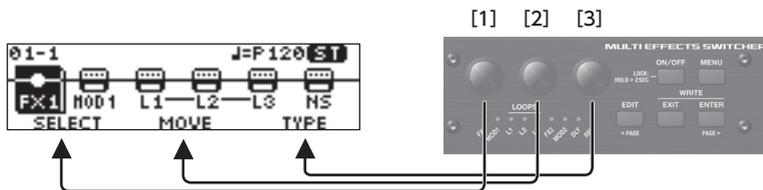
CTL, ASSIGN & MIDI SETTING 画面 (P.12)



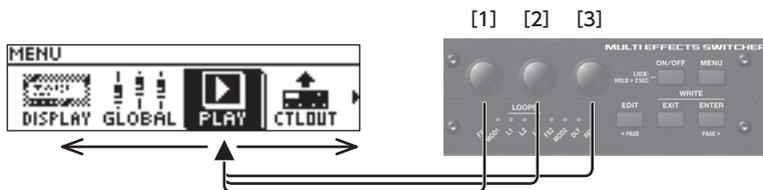
[< PAGE] [PAGE >] ボタン
でページ切り替え

[1] ~ [3] つまみの操作

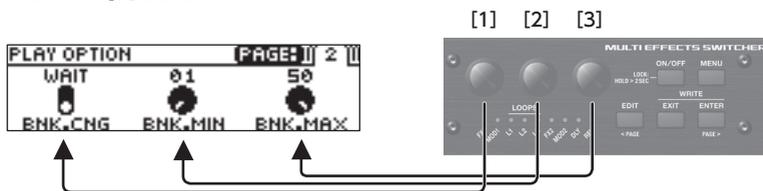
- 画面の下段に機能名やパラメーターが表示されているときは、それぞれの機能またはパラメーターに [1] ~ [3] つまみが対応します。



- CTL, ASSIGN & MIDI SETTING 画面 (P.12)、WRITE UTILITY 画面 (P.13)、MENU 画面 (P.15) では、どのつまみを操作しても、カーソルを移動させてアイコンを選ぶことができます。

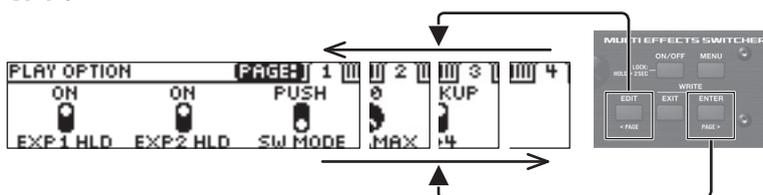


- つまみやスイッチのアイコンが表示されている画面では、それぞれのアイコンに [1] ~ [3] つまみが対応します。



ページの切り替え

- ページ・タブが表示されている画面では、[< PAGE] [PAGE >] ボタンでページを切り替えます。



準備する

電源を入れる／切る

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れるとき

本機 ([POWER] スイッチ:ON) → 接続した機器 → ギター・アンプの順で電源を入れます。

電源を切るとき

ギター・アンプ → 接続した機器 → 本機 ([POWER] スイッチ:OFF) の順で電源を切ります。

ギターをチューニングする (チューナー)

1. [MEMORY/MANUAL] スイッチを長押し (2 秒以上) します。



チューナー画面が表示されます。

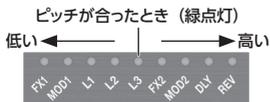


2. 弦を開放で弾き、画面中央のインジケータだけが点灯するようにチューニングします。



メモ

オン／オフ・インジケータを見ながらチューニングすることもできます。



3. チューニングを終了するときは、再度 [MEMORY/MANUAL] スイッチを押します。

基準ピッチの設定

チューナー画面で [1] つまみを回すと、チューナーの基準ピッチを変更することができます。

PITCH

435 ~ 445Hz (初期値: 440Hz)

出力の設定

チューナー画面で [3] つまみを回すと、チューナー使用時の出力の設定を変更することができます。

| OUTPUT | 説明 |
|--------|---|
| MUTE | チューニング中に音を出力しません。 |
| BYPASS | チューニング中に MS-3 に入力されたギターの音を、そのまま出力します。すべてのエフェクトがオフの状態です。 |
| THRU | 現在のエフェクト音のままチューニングできます。 |

演奏する

パッチの構成

MS-3 に搭載されたエフェクトとエフェクト・ループ (L1 ~ 3) の組み合わせ / 設定をひとまとめたものを「パッチ」と呼びます。

また、パッチ 4 つをひとまとめたものを「バンク」と呼びます。

パッチはバンク (1 ~ 50) / ナンバー (1 ~ 4) で整理され、200 パッチを保存することができます。



メモリー / マニュアル・モードを切り替える

メモリー・モード (MEMORY/MANUAL インジケーター : 青点灯)

本体に保存したパッチを呼び出して使うことができるモードです。ナンバー・スイッチ [1] ~ [4] を使って、パッチを切り替えます。

マニュアル・モード (MEMORY/MANUAL インジケーター : 赤点灯)

パッチごとに設定した、ナンバー・スイッチ [1] ~ [4] に割り当てた機能を操作するモードです。

1. [MEMORY/MANUAL] スイッチを押します。



押すたびに、メモリー・モードとマニュアル・モードが切り替わります。

バンク／パッチを切り替える

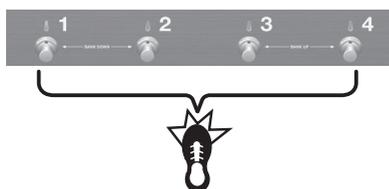
1. バンク (01 ~ 50) を切り替えます。

ナンバー・スイッチ [3] バンク・アップ
と [4] を同時に押す。



ナンバー・スイッチ [1]
バンク・ダウン
と [2] を同時に押す。

2. ナンバー・スイッチ [1] ~ [4] を押して、パッチを切り替えます。



[1] つまみを回すと、パッチを連続で切り替えることができます。



パッチを選ぶと、パッチ内でオンになっているエフェクトのインジケーターが点灯します。

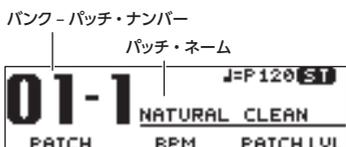


※ プレイ画面 (次項) 以外ではパッチを切り替えることができません。[EXIT] ボタンを押してプレイ画面に戻ってから、パッチを切り替えてください。

プレイ画面について

電源投入後に表示される画面を「プレイ画面」といいます。

メモリー・モードのとき



[1] ~ [3] つまみで変更できるパラメーター

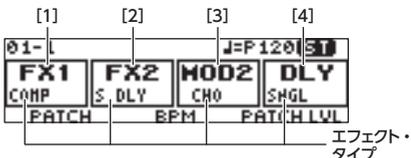
[ENTER] ボタンを押すと、表示を切り替えることができます。



| アイコン | 説明 |
|--------|----------------------|
| J=F120 | マスター BPM |
| L | OUTPUT L のみ出力 (モノ出力) |
| R | OUTPUT R のみ出力 (モノ出力) |
| LR | OUTPUT L、R から同じ信号を出力 |
| ST | ステレオ出力 |
| 🔒 | ロック機能がオン |

マニュアル・モードのとき

ナンバー・スイッチ [1] ~ [4] に割り当てられているパラメーター



※ 1 つのスイッチに複数のパラメーターが割り当てられているときは、右下に「+」マークが付きます。

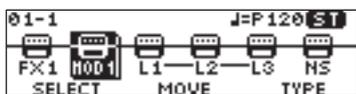
パッチの設定を変える

基本操作

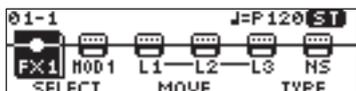
1. 設定を変更したいパッチを呼び出します (P.10)。
2. [EDIT] ボタンを押します。



エフェクト・チェーン画面が表示されます。



3. [1] つまみで、エディットするエフェクトを選びます。



カーソルのあるエフェクト (反転表示) を、[ON/OFF] ボタンを押してオン/オフを切り替えることができます。



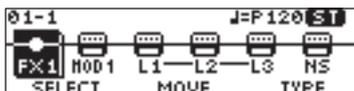
オンになっているエフェクトはアイコンで表示されます。オフになっているエフェクトは「●」で表示されます。

各パラメーターについて、詳しくは『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

| アイコン | 説明 |
|--------------------|---|
| FX1 FX2 | さまざまなタイプのエフェクトを選ぶことができます。 FX1とFX2で、同じエフェクトを選ぶこともできます。 |
| MOD1 MOD2 | モジュレーション系エフェクトの中からタイプを選ぶことができます。 MOD1とMOD2で、同じエフェクトを選ぶこともできます。 |
| L1 L3 | ループ・エフェクトのオン/オフを設定することができます。 |
| DLY | さまざまなタイプのディレイを選ぶことができます。 |
| REV | さまざまなタイプのリバーブを選ぶことができます。 |
| NS | ノイズ・サプレッサー |
| FV | 音量をコントロールします。 ※ オフにすることはできません。 |
| MST | パッチの音質補正、その他の設定をします。 |
| 100 (PATCH LVL) | パッチ・レベル (パッチの音量) を設定します。 カーソルを合わせたときに、[3] つまみで調節できます。 |
| OUTPUT | OUTPUT 端子からの出力のしかたを設定します。 |
| CTL | [CTL / ASSIGN / MIDI の設定を変える] (P.12) 参照。 |

メモ

FX1、FX2、MOD1、MOD2、DLY、REV は、[3] つまみでエフェクトのタイプを選ぶことができます。



4. [ENTER] ボタンを押して、エディット画面に移ります。



パッチの設定を変える

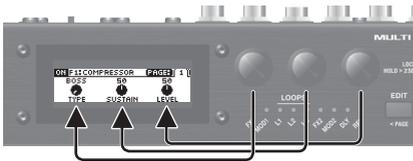
メモ

エディット画面で [ON/OFF] ボタンを押すと、エフェクトのオン/オフが切り替わります。エフェクト効果の確認をすることができます。

ページ・タブが表示されている画面では、[< PAGE] [PAGE >] ボタンで、エディット画面のページを切り替えます。



- [1] ~ [3] つまみで、画面上に表示されている各パラメーターの値を設定します。



- [EXIT] ボタンを数回押して、プレイ画面に戻ります。

エフェクトの接続順を変更する

- エフェクト・チェーン画面で、[1] つまみで移動したいエフェクトを選びます。



ご注意!

- L1 ~ 3 を移動させることはできません。FX1、FX2、MOD1、MOD2、DLY、REV、NS、FV を、L1 ~ 3 の前後に自由に移動させることができます。
- MST、PATCH LVL、OUTPUT、CTL を移動させることはできません。

- [2] つまみで、選んだエフェクトを移動させます。



CTL / ASSIGN / MIDI の設定 を変える

各パッチに CTL、ASSIGN、MIDI の設定をして、さまざまなパラメーターを操作することができます。

- エフェクト・チェーン画面で、[1] つまみで [CTL] を選び [ENTER] ボタンを押します。

CTL、ASSIGN & MIDI SETTING 画面が表示されます。



- [1] ~ [3] つまみで、エディットするコントローラーを選びます。

オンになっているコントローラーはアイコンで表示されます。オフになっているコントローラーは「OFF」が表示されます。

| アイコン | 説明 |
|-------------------------|---|
| NUM1 NUM2 NUM3 NUM4 | マニュアル・モード時にナンバー・スイッチ [1] ~ [4] でコントロールするパラメーターを設定します。 ※ マニュアル・モード時のみ動作します。 |
| MEMORY MANUAL | [MEMORY/MANUAL] スイッチでコントロールするパラメーターを設定します。 |
| CURRENT NUMBER | メモリー・モード時、現在選ばれているパッチのナンバー・スイッチを操作したときにコントロールするパラメーターを設定します。 (例) 01-1 → ナンバー・スイッチ [1] ※ メモリー・モード時のみ動作します。 |

| アイコン | 説明 |
|---|---|
|  | CTL IN 端子に接続したエクスプレッション・ペダル (EXP 1、2) でコントロールするパラメーターを設定します。 |
|  | CTL IN 端子に接続したフットスイッチ (CTL 1 ~ 4) でコントロールするパラメーターを設定します。 |
|  | ASSIGN では、より詳細な設定が可能です。 たとえば、ナンバー・スイッチ [1] のパラメーター操作に加えて他のパラメーターを同時に操作したい場合などに、ASSIGN を使用します。 1 パッチに 8 種類設定することができます。 |
|  | パッチ切り替え時に送信する MIDI 情報に関する設定をします。 1 パッチに 4 種類設定することができます。 |

3. [ENTER] ボタンを押して、エディット画面に移ります。



ページ・タブが表示されている画面では、[< PAGE] [PAGE >] ボタンで、エディット画面のページを切り替えます。

4. [1] ~ [3] つまみで、画面上に表示されている各パラメーターの値を設定します。



5. [EXIT] ボタンを数回押して、プレイ画面に戻ります。

パッチを保存する (ライト)

作ったパッチを保存したいときは、ライト操作をします。

※ 専用ソフトウェアを使って、パッチの保存 / 入れ替え / 初期化 / バックアップなどをすることができます (P.17)。

ご注意!

- パッチを保存しないと、電源を切ったりパッチを切り替えたりしたときにエディットした内容が失われます。
- 保存すると、保存先のパッチは上書きされます。

1. [EXIT] ボタンと [ENTER] ボタンを同時に押します。

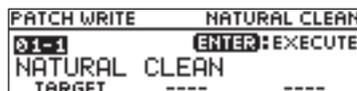


WRITE UTILITY 画面が表示されます。



2. [1] ~ [3] つまみで [WRITE] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

3. [1] つまみで保存先 (01-1 ~ 50-4) を選び、[ENTER] ボタンを押します。



ここで、パッチ・名前を変更することができます。

| 操作子 | 動作 |
|------------|--------------|
| [1] つまみ | 文字の変更 |
| [2] つまみ | カーソルの移動 |
| [3] つまみ | 文字種選択 |
| [EDIT] ボタン | カーソル位置の文字を削除 |
| [MENU] ボタン | カーソル位置に空白を挿入 |

パッチの設定を変える

4. 保存するときは、[ENTER] ボタンを押します。

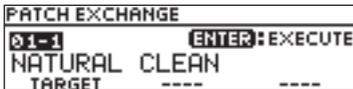
※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

保存が完了すると、プレイ画面に戻ります。

パッチを入れ替える

現在選ばれているパッチを、指定したパッチと入れ替えます。

1. WRITE UTILITY 画面で、[1] ~ [3] つまみで [EXCHANGE] を選び [ENTER] ボタンを押します。
2. [1] つまみで、入れ替え先のパッチを選びます。



3. 入れ替えをするときは、[ENTER] ボタンを押します。

※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

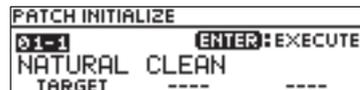
入れ替えが完了すると、プレイ画面に戻ります。

パッチを初期化する

選んだパッチを初期値に戻します。

1. WRITE UTILITY 画面で、[1] ~ [3] つまみで [INITIALIZE] を選び [ENTER] ボタンを押します。

2. [1] つまみで、初期化するパッチを選びます。



3. 初期化するときは、[ENTER] ボタンを押します。

※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

初期化が完了すると、プレイ画面に戻ります。

システム設定をする (MENU)

MS-3 全体で共通の設定を「システム設定」と呼びます。

各パラメーターについて、詳しくは『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

基本操作

1. [MENU] ボタンを押します。



MENU 画面が表示されます。



2. [1] ~ [3] つまみで、エディットする項目を選びます。

| アイコン | 説明 |
|------|---|
| | ディスプレイのコントラストを調節します。 |
| | 各音域の音質を補正します。 |
| | 演奏中のオプション機能を設定します。 |
| | CTL OUT の CTL 1/2 端子の動作を設定します。 |
| | プレイ画面で操作する [1] ~ [3] つまみの機能を設定します。 |
| | MIDI クロックを送信するかどうかを設定します。 |
| | 本体スイッチ／外部ペダル／その他の設定を、パッチごとに異なる設定にするか、すべてのパッチで同じセッティングを共有するかを選びます。 |
| | 「オート・オフ機能を設定／解除する」(P.16) 参照。 |

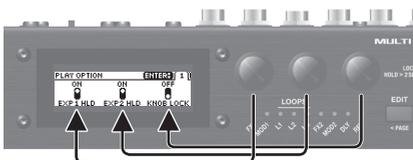
| アイコン | 説明 |
|------|---------------------------------------|
| | 「工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)」(P.16) 参照。 |

4. [ENTER] ボタンを押して、エディット画面に移ります。



ページ・タブが表示されている画面では、[< PAGE] [PAGE >] ボタンで、エディット画面のページを切り替えます。

5. [1] ~ [3] つまみで、画面上に表示されている各パラメーターの値を設定します。



6. [EXIT] ボタンを数回押して、プレイ画面に戻ります。

※ システム設定にライト操作はありません。パラメーターを設定すると自動的に保存され、反映されます。

ディスプレイのコントラストを調節する

ディスプレイの明るさを調節します。

1. MENU 画面で、[1] ~ [3] つまみで「DISPLAY」を選び [ENTER] ボタンを押します。
2. [1] つまみで、コントラストを調節します。



システム設定をする(MENU)

オート・オフ機能を設定／解除する

オート・オフ機能を「オン」にすると、演奏や操作をやめてから 10 時間経過すると、自動的に電源が切れます。電源が切れる約 15 分前に、ディスプレイにメッセージが表示されます。

※ 工場出荷時は、「オン」に設定されています。

自動で電源を切る必要がない場合は、「オフ」に設定します。

1. MENU 画面で、[1] ～ [3] つまみで「AUTO OFF」を選び [ENTER] ボタンを押します。
2. [1] つまみで、オン (AUTO OFF) / オフ (OFF) を設定します。



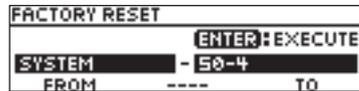
工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

MS-3 の設定を工場出荷時の設定に戻すことを「ファクトリー・リセット」と呼びます。

すべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができますが、工場出荷時の設定に戻したい項目を指定することもできます。

※ 「ファクトリー・リセット」を実行すると、お客様が設定した設定は失われます。必要なデータは、専用ソフトウェアでパソコンなどに保存してください。

1. MENU 画面で、[1] ～ [3] つまみで「F.RST」を選び [ENTER] ボタンを押します。
2. [1]、[3] つまみで、ファクトリー・リセットの範囲を指定します。



| パラメーター | 設定値 | 説明 |
|---------|--------------------------|--------------------|
| [1] つまみ | | |
| FROM | SYSTEM 01-1 ~ 50-4 | システム設定 パッチの設定内容 |
| [3] つまみ | | |
| TO | SYSTEM 01-1 ~ 50-4 | システム設定 パッチの設定内容 |

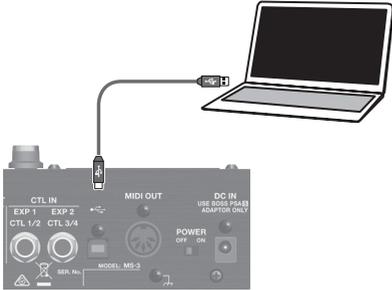
3. [ENTER] ボタンを押します。
 4. ファクトリー・リセットを実行するときは、[1] つまみで「OK」を選び [ENTER] ボタンを押します。
- ※ 中止するときは、「CANCEL」を選んで [ENTER] ボタンを押します。

ファクトリー・リセットが完了すると、プレイ画面に戻ります。

パソコンでパッチを編集／バックアップする

MS-3 を USB 経由でパソコンと接続すると、専用ソフトウェアを使って、以下のことができるようになります。

- パッチの設定を編集できます。
- パッチ・ネームを付けることができます。
- パッチの順番を並べ替えたり、入れ替えたりすることができます。
- パッチと本体の設定をバックアップしたり、バックアップした設定に戻したりすることができます。
- 『パラメーター・ガイド』『アプリケーション・ガイド』『MIDI インプリメンテーション』(PDF) を表示することができます。



※ 市販の USB2.0 ケーブルを使って接続してください。

USB ドライバーのインストール

パソコンに接続するには、USB ドライバーをインストールする必要があります。

USB ドライバーは、ボスのホームページからダウンロードしてください。

USB 接続をする前に、専用ドライバーのインストールをしてください。

詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

➔ <https://www.boss.info/jp/support/>

ドライバーは、ご使用の環境によってインストールするプログラムや手順が異なりますので、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をよく読んでうえでお使いください。

専用ソフトウェアのインストール

専用ソフトウェアは、ボスのホームページからダウンロードすることができます。

➔ <https://www.boss.info/jp/support/>

使いかたの詳細については、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をご覧ください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

資料

エラー・メッセージ一覧

| メッセージ | 原因 | 対処 |
|-------------------|---|-------------------------------------|
| USB OFFLINE! | 接続している機器からの通信が途切れしました。接続している機器の電源を切った場合にも表示されます。故障ではありません | 接続ケーブルの抜けや断線がないことを確認してください。 |
| DATA WRITE ERROR! | メモリーへの書き込みに失敗しました | 故障の可能性があります。ローランドお客様相談センターにご相談ください。 |
| LOCKED! | ボタンと [1] ~ [3] つまみがロックされています。 | ロック機能をオフにしてください (P.5)。 |

ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

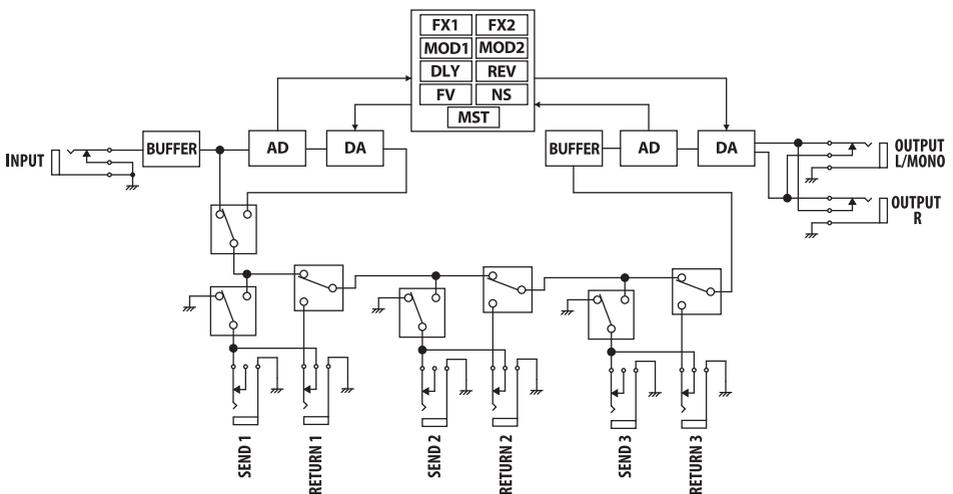
1. 本体底面の目印に合わせて、ゴム足を貼り付けます。



※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやスイッチなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

※ ゴム足は正しく貼りつけてください。正しく貼りつけないと、変形したり故障したりする場合があります。

ブロック・ダイアグラム



主な仕様

BOSS MS-3 : マルチ・エフェクト・スイッチャー

| | |
|-------------|--|
| 動作モード | メモリー・モード/マニュアル・モード |
| ループ数 | 3 |
| AD 変換 | 24 ビット + AF 方式 AF 方式 (Adaptive Focus method) は AD コンバーターの SN 比を飛躍的に向上させるローランド/ポス独自の方式です。 |
| DA 変換 | 24 ビット |
| サンプリング周波数 | 44.1kHz |
| エフェクト・タイプ | 112 種類 |
| パッチ | 200 |
| 規定入力レベル | INPUT : -10dBu LOOPS L1 ~ 3 RETURN : -10dBu |
| 最大入力レベル | INPUT : +7dBu LOOPS L1 ~ 3 RETURN : +7dBu |
| 入力インピーダンス | INPUT : 1M Ω |
| 規定出力レベル | OUTPUT L/MONO, R : -10dBu LOOPS L1 ~ 3 SEND : -10dBu |
| 出力インピーダンス | OUTPUT L/MONO, R : 1k Ω |
| 推奨負荷インピーダンス | OUTPUT L/MONO, R : 10k Ω 以上 LOOPS L1 ~ 3 SEND : 10k Ω 以上 |
| コントロール | ナンバー・スイッチ 1 ~ 4, MEMORY/MANUAL スイッチ ON/OFF ボタン, MENU ボタン, EDIT ボタン, EXIT ボタン, ENTER ボタン 1 ~ 3 つまみ POWER スイッチ |
| ディスプレイ | グラフィック LCD (132 x 32 ドット, バックライト付き) |
| インジケーター | ナンバー・インジケーター 1 ~ 4, MEMORY/MANUAL インジケーター オン/オフ・インジケーター (FX1, MOD1, L1 ~ 3, FX2, MOD2, DLY, REV) |
| 接続端子 | INPUT 端子 : 標準タイプ LOOPS L1 ~ 3 SEND 端子 : 標準タイプ LOOPS L1 ~ 3 RETURN 端子 : 標準タイプ OUTPUT (L/MONO, R) 端子 : 標準タイプ CTL OUT CTL1/2 端子 : TRS 標準タイプ CTL IN EXP1 CTL1/2 端子, CTL IN EXP2 CTL3/4 端子 : TRS 標準タイプ USB COMPUTER 端子 : USB タイプ B MIDI OUT 端子 DC IN 端子 |
| 電源 | AC アダプター |
| 消費電流 | 280mA |
| 外形寸法 | 275 (幅) x 97 (奥行) x 68 (高さ) mm |
| 質量 (電池含む) | 1.1kg |
| 付属品 | AC アダプター, ゴム足 x 4, 取扱説明書, 「安全上のご注意」 チラシ, 保証書, ローランド ユーザー登録カード |
| 別売品 | フットスイッチ : FS-5U, FS-5L, FS-6, FS-7 エクスプレッション・ペダル : EV-30, FV-500L, FV-500H, Roland EV-5 |

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

安全上のご注意

⚠ 警告

Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください。(P.16)。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のもの、AC100V の電源で使用してください。



⚠ 注意

小さな部品はお子様の手が届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪くて飲み込んだりすることのないよう手の届かないところに保管してください。

- ・ 付属品
ゴム足 (P.18)



⚠ 注意

接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、ゆるんではずれないように確実に取り付けてください。



使用上のご注意

設置について

- ・ 設置条件 (設置面の材質、温度など) によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

- ・ 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりませんが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・ 当社では、本機の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- ・ 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- ・ 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ・ ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。

- ・ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの (別売: FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5) をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。
- ・ 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。
- ・ 設置条件によっては、本機や本機に接続した機器 (ギターなど) の金属部に触れると、ビリビリとした感じがする場合があります。これは人体にまったく害のない極めて微量の帯電によるものですが、気になるかたは接地端子 (図参照) を使って外部のアースか大地に接地してお使いください。このとき、わずかにハム (うなり) が混じる場合があります。なお、接続方法がわからぬときはローランドお客様相談センターにご相談ください。



接続してはいけないところ

- ・ 水道管 (感電の原因になります)
- ・ ガス管 (爆発や引火の原因になります)
- ・ 電話線のアースや避雷針 (落雷のとき危険です)

知的財産権について

- ・ 第三者の著作物 (音楽作品、映像作品、放送、実演、その他) の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- ・ 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム [eParts™] が搭載されています。
- ・ Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の商標、または登録商標です。
- ・ 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。